

「令和8年度城南区デジタルゲームでフレイル予防事業業務委託」に係る提案競技 質問・回答表

NO	質問項目	質問内容	回答
1	企画内容・実施回数・開催規模について	「デジタルゲームを活用した『通いの場に参加していない高齢者』および『男性高齢者』を対象とした社会参加促進支援」について、具体的な実施方法は提案者の企画による理解でよろしいでしょうか。また、実施にあたり最低限満たすべき回数、対象校区数、成果基準等があれば確認させてください。	具体的な実施方法については、提案者の企画で実施することを想定しております。講座回数や対象校区数の下限は設定しておりません。仕様書に記載しております「令和7年度事業実績」を踏まえ、より効果的と思われる企画内容のご提案をお願いします。
2	フレイル予防講話と医療専門職の手配について	フレイル予防等の健康に関する講話について、医療専門職の専門性を適切に活かすため、実施が必要な場面や頻度を確認させてください。開催する事業の全てで毎回実施する想定でしょうか。それとも、要所で実施する想定でしょうか。また、医療専門職の手配については、受託者側で行う前提か、区や関係機関からの紹介・協力があるのか確認させてください。	フレイル予防等の健康に関する講話等、医療専門職が従事することが適切と思われる内容を企画する場合は、医療専門職の配置も含めた提案をお願いします。また、医療専門職の手配は受託者が実施することを想定しています。なお、本事業は、フレイル予防に資する社会参加をデジタルゲームというツールを使って促進することを目的としています。その点を踏まえ、健康づくり(フレイル予防)について住民に周知する内容を取り入れる等の視点は必要と考えます。
3	本事業で優先する成果について	令和8年度に特に重視される成果は何でしょうか。参加者数、男性参加者の増加、サポーター育成、自主運営の通いの場の創出、地域包括ケアに資する環境づくりのうち、優先順位を確認させてください。	令和8年度は、「通いの場に参加していない高齢者や男性参加者の社会参加促進」「地域活動を自主運営できる人材の育成・通いの場の創出」に重点を置いております。「地域包括ケアシステム構築推進に資する環境づくり」については、令和9年度の事業展開の基盤づくりを想定しております。
4	仕様書 5 業務内容(2)①ア「開催日程・回数等」について	仕様書5(2)①アにおいて、通いの場の創出に向けた「開催日程・回数等」は発注者と協議のうえ設定・実施することとされています。前年度の事業実績では各公民館等で合計33回開催されたと伺っておりますが、今年度の提案においても、前年度と同等の開催回数を維持することを大前提として企画すべきでしょうか。それとも、開催回数を絞って1回あたりの内容をより充実させるなど、受託者からのより自由な回数設定をご提案してもよろしいでしょうか。	開催日程・回数等の具体的な設定はしていません。令和7年度の事業実績を踏まえたうえで、仕様書5業務内容(2)①アに記載のとおり、各校区1か所以上のデジタルゲームを活用した通いの場の創出を目標に、より効果的と思われる企画内容を自由な発想でご提案ください。